

定期予防接種スケジュール《例》

予防接種を受けるには病気ごとにそれぞれの接種に適した時期がありますので、おすすめする時期（標準的な接種期間）に受けましょう。詳細については、それぞれの予防接種票をご覧ください。

ワクチン名	0歳	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	2歳
不活化ワクチン B型肝炎 (全3回)			①	②					③					
不活化ワクチン ヒブ (全4回)			①	②	③								④ 追加	
不活化ワクチン 小児肺炎球菌 (全4回)			①	②	③								④ 追加	
経口生ワクチン ロタウイルス (1価：全2回 5価：全3回)			①	②	③ ※5価のみ									
不活化ワクチン 四種混合 (ジフテリア・百日咳 破傷風・ポリオ) (全4回)				①	②	③							④ 追加	
生ワクチン BCG (全1回)						①								
生ワクチン 麻しん・風しん (全2回)													①	
生ワクチン 水痘 (全2回)													①	②
不活化ワクチン 日本脳炎 (全4回)														

生後2か月になったらすぐに受けましょう

1価は生後24週までに2回、5価は生後32週までに3回の接種を完了しましょう

3回目終了後、6カ月後から接種できますが、概ね1年あけて接種しましょう

四種混合などと同時に受けられます

1歳になったらなるべく早く受けましょう

※ 標準的には3歳からの接種となります

←→ おすすめの接種時期
 ■ 定期予防接種の対象年齢
 --- 同時接種：医師が必要と認めた場合、同時に複数のワクチンを接種することができます。かかりつけ医に相談してお受けください。

★ 異なった種類のワクチンを接種する場合の間隔 ★

注射生ワクチン（麻しん風しん、水痘等）を接種した日の翌日から数えて、別の種類の**注射生ワクチン**の接種を行うまでの間隔は**27日以上**あける。
注射生ワクチン、経口生ワクチン（ロタウイルスワクチン）、**不活化ワクチン**（ヒブ、小児肺炎球菌、インフルエンザ等）を接種した日の翌日から数えて、別の種類の**不活化ワクチン**の接種を行うまでの間隔は**1日以上**あける。

大蔵村では任意接種の費用助成を行っています。

○対象となるワクチン

* おたふくかぜワクチン (生ワクチン)

おたふくかぜ (流行性耳下腺炎) を予防するワクチンです。

おたふくかぜとは・・・

感染力の強いムンプスウイルスによっておこる発熱と耳下腺の腫れを特徴とする病気です。

増殖したウイルスが全身に広がり、無菌性髄膜炎・脳炎・難聴・精巣炎、卵巣炎等の合併症をおこします。

対象となる期間 …… 1歳から小学校就学前の幼児

接種回数及び接種期間	費用負担
1歳を過ぎたら、 1年以上の間隔をあけて小学校就学前までに2回接種します。	接種金額の8割を助成 (大蔵村診療所の場合： 接種料5,000円×80%=助成額4,000円)

接種時に必要な持ち物 …… 母子健康手帳

費用助成方法 …… 償還払い対応

(※詳しくは【費用助成を希望する場合の流れについて】をご覧ください。)

【費用助成を希望する場合】

- ① 医療機関で予防接種を受ける前に、必ず役場健康福祉課にて「大蔵村おたふくかぜ予防接種確認書」を記入する。
- ② 医療機関で予診票を受け取り、必要事項を記入後、予防接種を受ける。終了後、**接種料全額を医療機関に支払う。**
(大蔵村診療所の場合：接種料 5,000円)
- ③ 後日、役場健康福祉課にて、「大蔵村おたふくかぜ予防接種費用助成申請書」を記入し、申請する。

◎申請に必要なもの

- ・おたふくかぜワクチンの領収書、診療明細書
- ・母子健康手帳
- ・はんこ (シャチハタ不可)
- ・申請者名義の通帳の写し

ご不明な点がございましたら、下記問い合わせ先にご連絡ください。

問い合わせ先 大蔵村役場健康福祉課健康衛生係
☎0233-75-2111